

平成30年度 第1回逗子市生涯学習推進懇話会 会議概要

- 日 時 2018年(平成30年)5月18日(金) 10:00~12:00
- 会 場 市役所5階 第1会議室
- 出 席 懇話会メンバー 金山彰風、大石忠、津留崎寿美子、田中肇、岸原晃、
岸名佑未子、宮下重美(敬称略)
アドバイザー 高橋美恵子(敬称略)
- 欠 席 懇話会メンバー 依田仁、小林仁、東弘之、関正義、柳原正廣、
服部誠(敬称略)
- 事務局 市民協働部:芳垣健夫部長、石井聡次長
市民協働課:中川公嗣係長、北村絵理主事
- 傍聴者 なし
- 配布資料
 - 資料1 逗子市生涯学習推進懇話会メンバー名簿
 - 資料2 総合計画・基幹計画・個別計画の進行管理について
 - 資料3 今後のスケジュールについて
 - 追加資料 社会教育課講座一覧及びアンケート結果

○開会

部長あいさつ

○議題

【生涯学習活動推進プランの評価について】

1. 共有ネットワーク構築事業

座 長:進捗状況について、何について書いているのか分かるように書き直してほしい。

ノウハウ移転についてと、子ども対象学習メニューの具体的内容についても記載が必要である。

メンバー:障がい児・障がい者に特化した講座の設定や、参加しやすい環境づくりに配慮ができていくかについても、今後、考えてほしい。

石井聡次長:その点については、他の事業についても該当することなので、総括に意見として入れさせていただきたい。

メンバー:ネット上に情報があふれている時代で、リスクも増加している。今後、どのように情報を整理・保管し、何を優先していくのが課題である。

メンバー:ナニスルについて、これから活動をしたいという人がアクセスして、必要な情報にたどり着くことが難しい状況であるので、改善してほしい。

メンバー：企業ではありがちだが、ネット上に情報があるから、窓口でも「ネットを見てください」という説明になってしまわないように注意してほしい。逗子にはネットやメールができない人でも活躍している人は大勢いるので、スタッフが説明できないという状況にはならないように。ナニスルにアクセスしている人はどのような人なのか、市外からか市内からか分かるようなら資料がほしい。

石井聡次長：ナニスルに掲載している団体情報は紙のガイドブックでも発行し、誰でも閲覧できるようになっている。どのような人がアクセスしているかに関しては、ほとんどがスマホからなので把握することが難しいが、例えばイベントの参加者にアンケートをとる等の方法が可能であると思う。

メンバー：ナニスルと耳にする割には、アンケートのあるものを見ると広報ずしで知った人が多かったりする。

2. 生涯学習講座事業

座長：講座のⅠ型～Ⅳ型について、説明の資料をつけてほしい。

メンバー：参加者が少なかったとしても開催すべき講座もあるし、その講座の必要性を判断するために内容や参加者の満足度などがわかる資料が必要である。

石井聡次長：講座内容についての資料を増やすこともできるが、どの目標に対してどのような理由でこの評価です、というのを進行管理表に詳しく記載するという方が審査も効率的かと思うが、いかがか。

メンバー：その方がありがたい。

石井聡次長：次回の懇話会には、詳細について記載した進行管理表をお示しできるようにする。

メンバー：社会教育課の作成しているアンケートの様式がよくできているので、市全体で共有して共通の様式にしてはどうか。

3. 市民交流センター相談窓口機能充実事業（⑩を含む）

座長：進捗状況についての書き方を改めていただきたい。

市民からの相談件数についてのデータはあるか。

石井聡次長：交流センターに確認する。

4. 共育ポータルサイト活動事業（共育ネットワーク構築事業）（⑨を含む）

座長：ポータルサイトへのアクセス数とページビュー数について、比較の基準はいつの数字か。

メンバー：現在のナニスルは、これから活動をしたいと思う人がキーワードを入れても欲しい情報にたどり着くのが難しいので、検索しやすいようなシステムの変更を今後、考えてほしい。

5. 市民交流センター維持管理事業（⑩含む）

座長：進捗状況が「②事業完了」となっているが、「①予定どおり進捗」で良いのではありませんか。市民交流センター利用状況の資料について、前年の数字もわかるとよい。

メンバー：昨年度の資料と比べると、経費が 400 万円減っているが、何か経費を見直して捻出したものか。

石井聡次長：共育フェスティバルの開催に対し国から出ていた補助が 29 年度はなかったため、その分がそのまま減った金額になっている。事業費については、市からのお金だけでなく全体がわかるような資料を用意する。

6. 市民活動支援講座事業

座長：講座や交流センターフェアの内容についてわかる資料を提出してほしい。

メンバー：もう少し、ボランティア活動をテーマとした講座を増やしてほしい。

7. 社会参加・市民活動ポイントシステム運用事業

石井聡次長：Zen については、平成 30 年度においては新規発行を休止しており、既に交付されているものに関しては期限までは使用可能である。

座長：ご説明いただいた内容について、進行管理表にも記載しておくこと。資料を見ると、生涯学習の団体にほとんど使われていないのが寂しい。

8. 市民活動支援補助金交付事業

北村絵理主事：こちらの事業についても、平成 30 年度の交付は休止している。

座長：先ほどと同様に進行管理表に記載すること。

12. 人権教育等事業（男女共同参画に関する講座）

座長：「子どもの権利条約ガイドブック」と「人権啓発リーフレット」の配布は、私立の学校にもしているか。

石井聡次長：私立の学校にも配布している。

座長：「市内の公立及び私立の小中学校へ配布」と表記を訂正しておくこと。

13. 国際交流推進事業

メンバー：国際理解講座についても、進行管理表に書いておいておくこと。

座長：進行管理表には、できたことだけでなく計画・目標に対してできなかったことも記載していただいた方がよい。

メンバー：池子米軍家族住宅居住者との交流をより活性化するための連絡会とはどのようなものか。

石井聡次長：連絡会については、平成 30 年度の目標なので内容は未定である。

14. 非核平和推進事業

座長：平成30年度の状況について進行管理表に書いておいておくこと。

15. 各種講座事業（社会福祉に関する講座）

座長：講座の内容や、誰が講師だったのかなどがわからない。

16. 図書館活動事業

座長：図書館カードの登録期間は確か3年で市外の人でも登録できるはずだが、登録率51%の算出方法を知りたい。

石井聡次長：図書館を確認する。

メンバー：図書館カードの登録率よりも、登録した人がどのくらい使用しているかの方が大切だと思う。

座長：図書館年報が毎年6月頃に発行されるので、それを見ると実態がわかりやすい。逗子の図書館は県内でもレベルがとても高く、レファレンスサービスも素晴らしいので、その辺りをもっとアピールしていただけるとよい。

メンバー：ブックスタートというのはファーストブックに名前が変わったのか。

石井聡次長：お子さんが生まれたときに、本を2冊差し上げるという事業がブックスタートだったのだが、本の贈呈がなくなり、お宅訪問をして読み聞かせなどをするという事業がファーストブックである。

メンバー：反省点と工夫している点が矛盾しているように見えてしまうので、おはなし会が年齢別であることや実施結果について詳しく書いておくこと。

メンバー：ブックスタートが廃止、ブックポストが一部廃止などの情報も記載していただきたい。

メンバー：図書館カードは、子どもがどのくらい登録しているかも教えてほしい。

17. 文化財保存活用事業

座長：交付金を出している文化財は、一般の人が自由に見学することが可能か。文化財は未来のために残すものなので、見学できるようになっていることが必要である。

メンバー：リストにあるそれぞれの文化財的な価値はわかるか。

石井聡次長：詳細についてはわからないが、すべて市が指定している文化財である。

18. 各種講座事業

メンバー：事業の目的は人材を育成することなので、その目的が達成できるような講座の内容になっているかわかるような資料がほしい。

19. 体験学習施設講座等事業

座長：所管の総合評価が (b) になっているが、よくやっていると思うので (a) で良いと思う。

メンバー：スマイルまつりの実績報告書の個人名は削除しておくこと。

21. 家庭教育講座事業

メンバー：家庭の教育力を育むような、もう少し大きいお子さんがいる家庭向けの講座も大事であると思う。

22. 学校支援地域本部事業、教育相談事業

座長：計画に対する進捗と合致していない部分があるので、記載内容を見直すこと。

【生涯学習活動推進プランの中間見直しについて】

事務局：今年度は、生涯学習活動推進プランの中間見直しの時期にあたる。皆さんには、計画を見ていただき、①社会環境が計画策定時からどのくらい変わっているか、②目標の達成度、の観点から見直しの必要性についてご意見をいただきたい。ご意見のある場合には、意見等記載シートに記入の上、6月5日（火）までにご提出いただきたい。

アドバイザー総括

アドバイザー：評価をはじめた当初の頃から比べるとシステム化して、一般的には機械的になりがちだが、皆さん真剣に内容について意見をいただいて感銘を受けた。他の人の意見を聴くということは大事で、次につながっていくと思う。もう一つは、アンケートや図書館の利用率などがお話にあがったが、情報をたくさんほしいと思いがちだが、どの情報をどこまで知る必要があるのか、ラインを決めていく必要があると思う。